

餌付けツアー 10:00am & 4:00pm



アカオクロオウム<Red Tailed Black Cockatoo>

- ・ オーストラリア中の湿気の少ないユーカリの森(タスマニア以外)に生息。
- ・ 5種類の亜種がいる。南部のものほど小さく、北部に住むものが最大です。
- ・ なんと寿命は100歳まで!
- ・ 植物、果物、種、ナッツ、昆虫の幼虫が好物です。
- ・ 繁殖期には木に出来た樹洞に巣を作ります。
- ・ オスは黒い体に鮮やかな赤い尾羽と黒いくちばし特徴です。
- ・ メスは黒い体に黄色の斑点、オレンジと黄色の尾羽に白っぽいくちばし特徴です。



ワライカワセミ<Laughing Kookaburra>

- ・ 大型のカワセミの仲間で、笑い声のような鳴き声からこの名前がついています。
- ・ オーストラリアの東部に広く分布しています。
- ・ とても親しまれている鳥です。
- ・ 日本のカワセミと違い、陸上の小動物を餌としています。
- ・ 昆虫、カエル、ヘビ、ネズミなどが主な食料。
- ・ 明け方や夕方になると大きな声で鳴き交わします。これはなわばりを主張するためだと言われています。



キバタン<Sulphur Crested Cockatoo>

- ・ 非常に頭が良く、好奇心旺盛
- ・ オーストラリアの東沿岸に広く分布。ケアンズ周辺にもたくさん生息しています。
- ・ 70歳まで生きられます!
- ・ 植物、種、ナッツ類が好物です。
- ・ キバタンは多くの他の鳥が羽に油分を持たせ撥水効果を持つのと違い、羽に細かい粉をまとうことで撥水効果を発揮します。
- ・ オスは黒い目を持ち、メスは赤茶色の目を持っています。
- ・ ケアンズ周辺では5月~10月が繁殖期になります。



オーストラリア・ガマグチヨタカ<Tawny Frogmouth>

- ・ クイーンズランド州北部からパプアニューギニアにかけて生息しています。
- ・ 白目の部分が赤からオレンジ色をしています。
- ・ ヨタカはフクロウではありません。違いは大きなくちばし、弱い足、顔の側面に目がある点です。
- ・ 隠れ上手 - 樹上にじっと動かずにいるときはその色合いから、まったく木の枝と見分けが付きません。
- ・ 夜行性で昆虫、鳥、ネズミ、カエル、トカゲなどを捕まえて食べます。

爬虫類ショー 11:00am & 2:00pm



パイソン(ニシキヘビ) <Pythons>

- ・ ニシキヘビにはまぶたも外耳もありません。目は代わりに透明なウロコで保護されています。
- ・ 表皮はヌルヌルして見えますが実はさらっとして非常に滑らかな手触りです。
- ・ においをもとに獲物を追いますが、鼻ではなく舌でにおいを感ずります。
- ・ オーストラリアのニシキヘビの多くは他の動物が近づいてくるのを口の横にある熱センサーで感じ取ります。
- ・ すべてのヘビは肉食ですが、捕らえた獲物をかんだり、ちぎったりすることは出来ず、いつでも丸飲みです。
- ・ 冷血動物のため体温を上げるために日光浴をします。



イースタンウォータードラゴン<Eastern Water Dragon>

- ・ オーストラリア東沿岸の水辺に生息しています。
- ・ 岩の上での日光浴が大好きです。
- ・ 泳ぐこと、走ること、木登りも得意です。
- ・ 水中に90分も潜っていることが出来ます。
- ・ 肉、果物、野菜、昆虫が好物です。
- ・ 最大で1m、体重1kgまで成長し、長い尾は体の3分の2を占めます。
- ・ オスは模様のはっきりして頭部が大きいです。
- ・ メスは通常10月に6-18個の卵を砂地に産み、59日で孵化します。



ヒガシアオジタカゲ <Blue-tongue Lizard>

- ・ オーストラリアのスキנק科トカゲ類では最も大きなもののひとつです。
- ・ 特徴的な体ですが同じスキנק科に属するニホントカゲとも近い仲間です。
- ・ 雑食性でおとなしいトカゲで、庭にやってきてナメクジなどの害虫を食べてくれることがあります。
- ・ ドッグフードや果物、野菜も食べます。
- ・ 敵に襲われると鮮やかな青い色の舌を出し、「シューッ」とヘビのような音を出して威嚇します。



フレッシュウォータークロコダイル<Freshwater Crocodiles>

- ・ オーストラリア北部の内陸部の河川や池に生息する小型のワニです。
- ・ オーストラリアにだけ生息する固有種です。
- ・ 寿命は80歳、イリエワニよりは短いですがそれでもかなりの長生きです。
- ・ 好きな食べ物は昆虫、魚、その他小さな生物を捕まえています。

コアラ <Koalas>



- ・ オーストラリア、クイーンズランド州北東部から南オーストラリア州南東部のユーカリの森に生息しています。
- ・ 寿命(じゅみょう)は10~15年です。動物園での飼育下では23年という記録もあります。
- ・ 食事はほぼユーカリの葉だけ。
- ・ 1日18-20時間は寝ています。zzzz
- ・ コアラ・ベアーと呼ぶ人がいますが熊の仲間ではなく、現存する一番近い親戚(しんせき)はウォンバットです。
- ・ 有袋類(ゆうたいるい)と呼ばれる哺乳類(ほにゅうるい)の一種で、わずか32日の妊娠期間(にんしんきかん)の後、赤ちゃんは小指の先ほどの大きさの未熟児(みじゅくじ)で生まれてきます。
- ・ オスは胸に臭腺(しゅうせん)を持ち、褐色(かつしよく)でベタベタした粘液(ねんえき)を出し、ナワバリのしるしに木々にこすり付けます。
- ・ ユーカリを消化するために、哺乳類(ほにゅうるい)の中でも一番長い盲腸(もうちょう)を持っています。

ワニのショー 3:00pm (乾期の涼しい時期は餌付けは行わないこともあります)

イリエワニ <Estuarine Crocodile>



ドームの主
名前: ゴライアス
年齢: 約50歳
長さ: 4.1m
重さ: 500kg

- ・ 世界のワニ類の中で最大の種類で、オスの大きな個体は7mにまで達します。(通常は3~5m)
- ・ オーストラリア北部から、東南アジア、インドの海岸近くの沼や河川、入江などに生息し、海に出ることもあります。
- ・ ワニの仲間が登場したのはおよそ2億年前、恐竜がいた時代なので、まさに「生きている恐竜」でしょう。
- ・ 大きなワニが狙うのは、小型の哺乳類や水鳥、魚などです。もちろん、人間を襲うこともあります。
- ・ 体を水中に隠したまま鼻と目だけを水面に出してじっと待ち伏せすることができます。
- ・ 泳いでも背中の凹凸のある鱗が波紋を打ち消しあって、水面に波が立ちません。
- ・ 獲物を捕まえるときには驚くほどの速さ、ロケットのように体半分を水中から飛び出させるジャンプもできます。
- ・ あごの力は強力で、牙は長いもので10cmを超えます。古くなると生え変わります。
- ・ ナワバリ意識が強く、侵入者がいれば追い払います。特に繁殖期のオス同士は激しい争いになることもあります。
- ・ 大量にエサを食べると思われがちですが、動物園では、1週間にニワトリを1~2羽も食べれば充分です。
- ・ 外温性の動物(変温動物)なので、周囲の気温が低いと体温も下り、体の動きばかりか内臓の活動も鈍くなります。そのため、いつも日光浴をして体温を上げています。暑過ぎるときには大きな口を開けて余分な熱を逃がします。
- ・ 気温の低い冬の間は餌もあまり食べません。食べても内臓の動きが悪くて消化できないからです。
- ・ 野生では、活発に動ける夏のあいだに充分な栄養を貯え、冬をしのぎます。健康な個体なら貯えた栄養で1年もの間にも食べずに生きていることができます。
- ・ 繁殖期になるとメスのワニは河原に草などを積み上げて巣を作り、30~70個の卵を産んで巣の中に埋めます。卵が孵るまでの約3ヶ月間、メスは巣を守ります。
- ・ 野生では大人になるまでに10年以上かかりますが、中には100年以上生きるワニもいます。
- ・ ワニの子供の性別は、およそ31℃を境に、それよりも高い日が多ければオス、低い日が多ければメスが多くなります。

夜行性哺乳類ショー 5:00pm

フクロモモンガ <Sugar glider>



- ・ オーストラリア北部および東部沿岸の森林に広く生息し、夜行性です。
- ・ 好物は樹液、果汁、果物、野菜のほか昆虫や小さな動物まで食べます。
- ・ オスのほうがメスより大きくなります。
- ・ 全長は約40cmほど、尻尾のほうが体より長いのが特徴で、体重は約140gmほどです。
- ・ 前足と後ろ足の間にある飛膜を使って50m以上も滑空できます。
- ・ 有袋類なのでメスはおなかに袋があります。
- ・ 繁殖期は年に1~2回(ケアンズ周辺では年2回)で1回に1~2匹の子供を産みます。
- ・ 通常野生では4~5年の寿命ですが、動物園の飼育下では17年も生きた例があります。
- ・ 学術名の「Petaurus breviceps」は小顔のローブダンサーという意味です。
- ・ ペットとしても人気がありますが、ビクトリア州、南オーストラリア州、ノーザンテリトリー以外ではペットとしての飼育は禁止されています。

アカネズミカンガルー <Rufous Bettong>



- ・ カンガルーに似た夜行性の動物です。
- ・ 大きな木や岩の下などに穴を掘って草などを編んだ巣を作り、日中はその中で休んでいます。
- ・ 夜になると植物の根茎やキノコ類、土壌性の昆虫などを採って食べます。
- ・ オーストラリアの動物には夜行性のものが多く、特に内陸の暑くて乾燥した地域では、ほとんどの有袋類が昼間の太陽を避けて、朝夕や夜に活動しています。



- * 入園券をお持ちのお客様は、大人\$21~/子供\$15.50~の追加料金で ZOOMアクティビティーに参加できます。
- * 入園料は5日間有効、何度でも自由に再入園が可能です。
- * 動物との記念写真は以下の時間の中で1時間おきに行います。
コアラ 9:30am~6:30pm
ヘビ・ワニ 9:30am~4:30pm
- * フェイスブックのページは右のQRコードから。
ご意見、ご感想、皆様が撮影された写真をお待ちしております!

